

障害者ピアサポート研修事業を担う講師・ファシリテーター養成研修

都道府県が実施するピアサポート研修事業を担う講師・ファシリテーター養成研修会へ、わいわい工房メンバーさんと参加しました。今回はその研修参加について、インタビュー形式で伺いました。

Q 今回の研修に参加されたきっかけを教えてください。

A 以前から精神保健福祉分野の勉強をしたいと思っていました。担当スタッフに「ピアサポーターになりたい」と話をしていたので、広島県から推薦で参加することができました。

Q 研修の内容はどのようなものでしたか？

A ピアサポートに関する事や、ピアサポート研修のファシリテーターとして必要なことを学びました。私にとっては以前から興味のあることだったので、充実した時間になりました。

Q 実際、研修に参加された感想を教えてください。

A 難しい内容もありました。演習では講義を聞くだけでなく、実際に自分で発表したことが勉強になりました。いろんな参加者の方の意見が聞けて楽しかった。

Q 研修に参加することで、何か良かったことはありますか？

A わいわい工房で、ピアスタッフとして働きたいという夢ができました。

Q 今後に向けての想いを教えてください。

A ピアスタッフになるという自分の将来の夢に向けて、これからも自分の病気の体験を伝える機会や、ピアサポートについて学ぶ機会があれば参加したいと思います!!



研修に参加されたメンバーさんにとって、とても良い経験となっていたことがインタビューを通じて伺えました。今後も、わいわい工房として当事者が活躍できる場を提供していきたいと思います。(田中)

医療観察制度研修

令和3年度の医療観察制度研修を行い、広島保護観察所の楊井社会復帰調整官に講義をして頂きました。医療観察制度は「対象となる人の社会復帰を促進すること」を目的としています。講義では制度の流れを中心に、楊井氏が何を大切にしながら対象となる人の社会参加を支援されているかをお話し頂きました。楊井氏の「支援の際に、処遇期間を生き方探しの時間にしてほしい。未来をどのように生きて行くかを考えてもらう」という言葉が印象に残っています。わいわい工房でも制度の目的を忘れずに、対象となる人が病と付き合いながら未来への希望を持ち続けられるよう支援をしていきたいと思います。(片江)



虐待防止研修



わいわい工房では毎年外部講師をお招きし、虐待防止研修を実施しています。今回、社会福祉法人 大乘福祉会 理事長 森木聡人様をお招きし、「虐待防止と接遇について考える」をテーマにお話をして頂きました。わいわい工房では現在3年未満の職員も多いため“虐待防止やそれに繋がる接遇についてのお話をして頂きたい”とお願いしたところ、快く受けて下さいました。話の内容は、具体的であり「平等と公平」「何に困っているのか？誰が困っているのか？」「援助者の行動規範（バイステックの7原則）」「危うい兆候チェックリスト」など、すぐにイメージができるような話をして下さいました。うなずきながら聞いているスタッフも多く、普段の業務と照らし合わせながら聞くことが出来ていると感じました。今回学んだことを、互いに声を掛けあいながら取り組んでいきます！！皆様のご協力を頂きながら、今後もこのような研修を実施していきたいと思っております。（村上）



投稿

コーナー

メンバーさんからの投稿作品を紹介します☆

【わたしエッセイ】



『道の駅みはら神明の里』 10周年イベントへ参加

「道の駅みはら神明の里」10周年イベントに参加させて頂きました。『みはら』と言えば…オリジナルキャラクター『やっさだるマン』！！という事で、今回は『やっさだるマン×わいわい工房』オリジナルグッズを中心に販売させて頂きました。注目の新商品『やっさだるマン缶マグネットセット』800円は、メンバーさんの遊び心溢れるパッケージになっていて好評でした♡ ご注文は、わいわい工房にて承っております(^_-)☆

また、この度初めての試みで、メンバーさんによる似顔絵コーナーを開催させて頂きました。最初はとても緊張されていた様ですが「ワクワクが止まらない！」と素敵な眼差しで作成に取り組んでおられました。これからもわいわい工房のメンバーさんと共に、いろいろな事にチャレンジしていけたらいいなと思えました。（上垣内）

